

## 第 23 回日本組織適合性学会大会のご案内

第 23 回日本組織適合性学会大会  
大会長 平山謙二  
長崎大学熱帯医学研究所 免疫遺伝学  
副大会長 江口 晋  
長崎大学大学院 移植・消化器外科

向春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のことと思います。第 23 回大会は「MHC 最前線一人体差の科学と先端医療」をテーマとして、MHC の生物学的な意味を掘り下げるとともに、とくに移植や再生医療など MHC を基盤とした臨床での最前線の成果を取り上げたいと準備しています。会場（長崎大学坂本（医学部）キャンパス）は浦上駅から直ぐで交通便の良いところにあります。多数のご参加をお待ち致しております。なお QCWS、認定試験、教育講演は 13 日（土）を予定しております。

**会 期：**平成 26 年 9 月 13 日（土）～ 15 日（月・祝）  
**会 場：**長崎大学医学部キャンパス（坂本キャンパス）  
〒 852-8523 長崎市坂本 1-12-4  
TEL 095-819-7820

### 大会内容（予定）

#### 1. 特別講演

James McCluskey FAA

Professor Microbiology and Immunology, Deputy Vice Chancellor Research, The University of Melbourne, Australia

笹月健彦

九州大学 高等研究院 特別主幹教授

Kyung-Suk Suh

Professor Department of Surgery, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Korea

#### 2. シンポジウム 2 題

#### 3. 一般演題・学会賞・学術奨励賞候補者発表

#### 4. QC ワークショップ、QCWS ミニ集会、認定技術者講習会（大会・教育講演を兼ねる）

#### 5. ランチョンセミナー、その他

### 大会事務局

本大会に関するお問い合わせは、下記の大会事務局にお願いいたします。

〒 852-8102 長崎市坂本 1-7-1

長崎大学大学院 移植・消化器外科

第 23 回 日本組織適合性学会大会 事務局（高槻光寿）

E-mail: jshi23@nagasaki-u.ac.jp

※一般演題募集要項、参加費、プログラムの詳細、その他については、日本組織適合性学会ホームページで順次お知らせします。なお、演題登録期間は 2014 年 4 月 16 日～ 5 月 30 日を予定しています。

## 2014 年度学会賞ならびに学術奨励賞の募集について

### 会員の皆様

日本組織適合性学会においては、これまで学術奨励賞をもうけて、若手の学会員の奨励に努めてまいりましたが、このたびより権威のある高い賞として位置づけた学会賞も新たに設けることとしました。

この学会賞は組織適合性分野において顕著な業績をあげられた学会員に学会賞として、表彰するものです。その趣旨からいえば、学会を代表する学会員を選ぶ慎重を要する作業であり、推薦された候補者について、公平かつ十分な審議をへて、受賞者を決定すべきものと考えられます。そこでこの機にあたり、学術奨励賞も含めて、各賞候補の資格や選考の手続きなどを明確にした、規定を作成いたしました。本規定において、学会賞は組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野において顕著な業績をあげ、本会の発展に特筆すべき功績を残した者を表彰し、もってその栄誉をたたえることを目的とし、一方学術奨励賞は組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野における秀でた学術的研究を若い会員に奨励するために優れた若手研究者を表彰し、もって組織適合性分野の発展に寄与することを目的としています。

本規定に則り、2014 年度日本組織適合性学会賞並びに学術奨励賞を以下の要領で募集します。従来の学術奨励賞についても若干の変更がありますので、以下の要領にしたがい、ふるってご応募ください。

### 1. 助成内容

組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野において顕著な業績をあげ、本会の発展に特筆すべき功績を残した学会員または名誉会員（年齢制限無し）を授与します。また、2014 年度学術集会大会（第 23 回大会）に応募された一般演題の中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者（応募者）に学術奨励賞（原則として 2013 年 9 月 16 日時点で満 45 才未満）を授与します。授与件数は学会賞 1 名（賞金 10 万円）、学術奨励賞若干名（賞金 5 万円、あるいはそれ以下）を予定しています。

### 2. 応募資格

#### (1) 学会賞

本学会の正会員として、5 年以上の会員歴があり、以下の条件を満たす者とする。

- 1) 組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野において顕著な業績をあげ、組織適合性学会の発展に特筆すべき功績を残した実績を有すること。
- 2) 本学会の正会員または名誉会員であること。
- 3) 正会員である場合は、当該年度の会費を納入済みであること。

#### (2) 学術奨励賞

本学会の正会員であり、以下の条件をすべて満たす者とする。

- 1) 組織適合性ならびに免疫遺伝学の分野に関する学術研究において、その業績が優れていること。
- 2) 当該年度の会費を納入済みであること、または当該年度の大会までに正会員として会費を納入すること。
- 3) 学術奨励賞を受賞した者は、原則として次年度以降も正会員を継続すること。
- 4) 当該年度の大会に、筆頭演者として演題に応募すること。
- 5) 応募しようとする演題の内容において、応募者が中心的な役割を果たしたこと。
- 6) 応募しようとする演題の内容が、本学会にふさわしく、かつ未発表であること。

- 7) 受賞後に、受賞対象となった研究の内容について、MHC へ原著論文あるいは総説を執筆すること。
- 8) 過去 3 年間に学術奨励賞を受賞していないこと。
- 9) 学術奨励賞の応募者は当該年度の 4 月 1 日において、原則として 45 才以下であること。

### 3. 応募・推薦方法

#### (1) 学会賞

学会賞は自薦または他薦とし、前年度の 3 月末までに、候補者に関する以下の書類を日本組織適合性学会事務局 (e-mail: mxnishim@gpo.kumamoto-u.ac.jp) にメール添付で提出する。なお、他薦の場合には、推薦者は正会員であることが必要です。

##### 1) 履歴書

書式は自由とし、A4 用紙にて 1 枚程度とする。連絡先住所、電話番号、FAX、e-mail アドレス、生年月日、年齢を記入する。

##### 2) 業績概要

書式は自由とし、A4 版用紙にて 2～3 枚程度とする。

##### 3) 論文業績リスト

書式は自由とし、代表的な論文 3 編について、各 1 部 (コピーも可) 添付する。

##### 4) 応募動機 (他薦の場合は推薦書)

書式は自由とし、学会賞への応募理由 (他薦の場合は推薦理由) を A4 版用紙 1 枚に記載する。

#### (2) 学術奨励賞

学術奨励賞に応募しようとする会員は、演題申込み締切りまでに、以下の書類を日本組織適合性学会事務局 (e-mail: mxnishim@gpo.kumamoto-u.ac.jp) にメール添付で提出する。

##### 1) 抄録

一般演題に応募した抄録

##### 2) 応募ファイル

1 頁目に、演題名、演者 (全員)、所属 (全員)、および応募者 (筆頭演者) の連絡先住所、電話番号、FAX、e-mail アドレス、生年月日、年齢を記入する。2 頁目以降に、応募した (1) 研究の背景、(2) 研究の意義、(3) 日本組織適合性学会との関わり (これまでと今後の方針・希望など) を、項目ごとに 300～400 字程度でまとめる。

### 4. 選考および結果通知について

#### (1) 学会賞

会長および学術賞担当理事と、会長が推薦し理事会が承認した 5 名の評議員により構成される学会賞選考委員会が選考を行う。委員会は、応募・推薦のあった学会賞受賞候補者より、1 名を受賞候補者として選考した後に、これを理事会に推薦するものとする。なお、委員は密接な利害関係者の審査に加わらない。理事会は、学会賞選考委員会から推薦された受賞候補者 1 名について審議し、受賞者を決定した後に、評議員会の承認を経て総会に報告するものとする。

#### (2) 学術奨励賞

学術奨励賞学術賞担当理事により推薦された若干名の評議員によって構成される学術奨励賞選考委員会が選考を行う。委員会は、応募のあった奨励賞受賞候補者の中から、第 23 回大会中の各候補者の口頭発表内容の評価等を参考にして、奨励賞選考委員会にて若干名を受賞候補者として選考した後、これを

会長に推薦し、承認を得る。なお、委員は密接な利害関係者の審査に加わらない。第 22 回大会期間中に選考結果を公表し、表彰式を実施する。

## 5. 受賞者にかかる義務について

### (1) 学会賞

学会賞受賞者は、原則として受賞年度に開催される大会期間中に、受賞講演を行う。

### (2) 学術奨励賞

学術奨励賞受賞者は、助成が行われた研究課題についての報告書（様式は別途通知します）を学会宛に提出する。

## 6. 助成金の使途

使途について特に制限はないが、学会賞・学術奨励賞であることの趣旨をご理解の上、適切に使用しなければならない。なお、学術奨励賞受賞者については使途とその内訳を後述の報告書に記載する。

## 7. 問い合わせ先

本件に関する問い合わせは学会事務局（Tel: 096-373-5310, Fax: 096-373-5314, e-mail: jshijimu@kumamoto-u.ac.jp 及び mxnishim@gpo.kumamoto-u.ac.jp）または学術奨励賞担当理事 猪子英俊（e-mail: hinoko@is.icc.u-tokai.ac.jp）にお願いします。

**組織適合性検査技術者認定制度  
平成 26 年度 認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ**

組織適合性検査技術者認定制度委員会

委員長 田中 秀則

組織適合性検査技術者認定制度委員会教育部会

部会長 太田 正穂

**日 時**：平成 26 年 9 月 13 日（土曜日）時刻：10 時～12 時の予定

**会 場**：第 23 回・日本組織適合性学会 大会会場  
長崎大学医学部キャンパス（坂本キャンパス）の予定  
日時と会場は確定次第，学会ホームページに掲載します。

**テキスト**：テキストは講習会の約 1 ヶ月前に，学会ホームページ上に掲載しますので各自，御参照ください。  
会場でのテキストの販売は，いたしません。

**受講証明書**：認定制度に関わる受講証明の受領を希望される方には，会場入口の受付にて，1 人につき 1 枚を発行いたします。

**内 容**：各講習とも質疑応答を含めて，35 分を予定しています。

**(1) HLA に関する基礎医学的な講演**

徳永 勝士（東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野・教授）  
「HLA 遺伝子群の多型データの活用」

**(2) HLA タイピングあるいは抗 HLA 抗体検査に関する講演**

小島 裕人（公益財団法人 HLA 研究所）  
「16th IHWS と 39th ASHI からみた HLA 検査の現状」

**(3) 臓器移植の臨床医学に関する講演**

湯沢 賢治（国立病院機構水戸医療センター・臓器移植外科医長）  
「腎移植の現況と組織適合性検査のかかわり」

この講習会は，今後 HLA 検査技術者認定を取得，あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが，それ以外の大会参加者であっても自由に参加することができます。従来のように，事前に受講希望届けを提出し，事前登録していただく必要はございません。

## QCWS ミニ集会の開催および参加希望者募集の案内について

認定制度委員会 QCWS 部会

日本組織適合性学会では、組織適合性検査実施施設の検査精度の維持および向上を目的とする QCWS（クオリティコントロールワークショップ）と大会期間中の QCWS 集會を、認定制度委員会 QCWS 部会の担当で年 1 回実施しております。

しかし、現状の QCWS 集會では、組織適合性検査の初心者や各検査法に関する基礎的な情報の修得を要望する会員に、十分な説明を行う時間を確保できない状況があります。

そこで下記の通り、HLA および HLA 検査に関する基礎的な内容の教育訓練を目的として、「QCWS ミニ集會」を大会期間中に開催することに致しました。

### 記

1. 対 象：学会員および大会参加者  
(組織適合検査の初心者で、HLA の基礎的な内容の教育訓練を希望する方)
2. 日 時：日本組織適合性学会・第 23 回大会期間中  
平成 26 年 9 月 14 日午前：QCWS ミニ集會 1 (HLA の基礎知識)  
平成 26 年 9 月 15 日午前：QCWS ミニ集會 2 (移植における HLA の基礎)
3. 会 場：ポンペ会館 (第 23 回大会会場：長崎大学医学部キャンパス内)
4. 定 員：各集會ともに 20 名程度  
(定員数を超える場合は、QCWS 部会で選考を行う場合があります。)
5. 参加費：無料
6. その他：申し込みに関する詳細は 6 月中旬に、日本組織適合性学会のホームページ (<http://jshi.umin.ac.jp/>) に掲載致します (応募締め切りは、7 月末を予定しています)。

以上

## 平成 25 年度認定 HLA 検査技術者講習会アンケート集計結果

開催日時：平成 25 年 9 月 14 日（土）10:00～12:00

会 場：第 22 回・日本組織適合性学会 大会会場

コラッセふくしま 多目的センター A・B（4F）

（福島県産業振興センター：福島市三河町 1 番 20 号）

### 1) 旅費・滞在費の財源について 回答者 76 名

① 私費	12 名 (15.8%)
② 職場からの支援	63 名 (82.9%)
③ その他	1 名 (1.3%)

③その他の内訳：研究費から 2 名，①と②を半額ずつ 2 名

### 2) 職場・職務について

職場 回答者 76 名

① 病院	35 名 (46.1%)
② 血液センター	14 名 (18.4%)
③ 検査センター	10 名 (13.2%)
④ 大学（国公立，私立）	9 名 (11.8%)
⑤ 民間企業	6 名 (7.9%)
⑥ その他	2 名 (2.6%)

職務 回答者 81 名

① 臨床医	2 名 (2.5%)
② 臨床検査業務	52 名 (64.2%)
③ 検査受託業務	8 名 (9.9%)
④ 製造業関連業務	5 名 (6.1%)
⑤ 製品開発業務	2 名 (2.5%)
⑥ 教育業務	1 名 (1.2%)
⑦ 研究業務	8 名 (9.9%)
⑧ その他	3 名 (3.7%)

### 3) 参加者の認定制度への関わりについて

認定資格の取得状況および取得への希望 回答者 71 名

①資格取得済み 33 名 (46.5%) ②資格取得希望 35 名 (49.3%) ③資格取得希望しない 3 名 (4.2%)

取得済みまたは取得を希望する資格 回答者 45 名

①認定技術者 44 名 (97.8%) ②認定指導者 1 名 (2.2%)

4) 学会ホームページに掲載された、講習会テキストの事前確認の有無 回答者 76 名  
あり 64 名 (84.2%) なし 12 名 (15.8%)

5) 講習科目の種類は適切であったか? (数値は 5 点満点の平均点)

平均点 4.7

評価の基準：5：すべての科目において適切であった。  
4：一部の科目に問題があったが、ほぼ適切であった。  
3：約半数の科目は適切であった。  
2：多くの科目について不適切であった。  
1：すべての科目について不適切であった。

6) 講習内容のレベルならびに講習テキストは適切であったか? (数値は 5 点満点の平均点)

	講演評価	テキスト評価
平均点	3.8	3.8

評価の基準：5：すべて理解できた。  
4：一部は難解であったがほぼ理解できた。  
3：約半分は理解できた。  
2：多くの内容について難解であった。  
1：すべての内容が難解であった。

7) 講習時間は量的に適切であったか? (数値は 5 点満点の平均点)

時間評価平均点	その他 要望
4.0	複雑な内容なので講演時間を長くしてほしい。 内容が難しく理解に時間がかかる。 アロ HLA 抗原の内容はとても興味深かった。 免疫学の授業を学生の時に受けられたらよかったと思うほどおもしろかった。 難しい分野だがわかりやすかった。 スライドコピーかメモ等を配布してほしい。 HLA 抗体検査の話が分かりやすく聴講しやすかった。 テキスト印刷がわかりにくい。

評価の基準：5：適切であった。  
4：ほぼ適切であった。  
3：もっと長時間の講習を受けたかった。  
2：講習時間はもう少し短くてもよかった。  
1：その他



## 8) 講習会の開催通知は適切であったか？（数値は 5 点満点の平均点）

平均点 4.8

評価の基準：5：適切であった。  
 4：あやうく見落とすところであった。  
 3：他の人から情報を得るまで気が付かなかった。  
 2：その他

情報の入手経路	回答数
ホームページ	17 名 (89%)
メール	2 名 (11%)

## 9) その他の意見

## ①講習・テキストについて

- ・各先生方の話は詳しく解りやすくまとめてあり，また貴重な資料・テキストであった。
- ・抄録集を前もって郵送してほしい。
- ・テキストをもうすこし早く掲載してほしい。
- ・学会誌を復活してほしい。

## ②会場及び開催時期について

- ・時間帯：遠方からの参加者が集会しやすい時間帯にしてほしい。
- ・短時間で良いので途中休憩をいれてほしい。
- ・福島は遠すぎる。
- ・開催日程を木・金・土にしてほしい。
- ・宿泊施設が豊富で，交通の便の良い所で開催してほしい。
- ・開催地は大多数の人が行きやすい交通事情の良い所にしてほしい。
- ・今回宿泊ホテルの予約が取れにくかったのでホテルの沢山あるところにしてほしい。
- ・開催時間が早すぎる。遠方からだと出席できないので午後からの開始にしてほしい。

## 日本組織適合性学会認定制度委員会 QCWS 部会名簿 (2014 年)

担 当	氏 名	所 属
部 会 長:	田中秀則	日本赤十字社 中央血液研究所 中央骨髄データセンター
副 部 会 長:	中島文明	日本赤十字社 中央血液研究所 研究開発部
副 部 会 長:	成瀬妙子	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野
・ 企画解析部門		
臓器移植分野:	湯沢賢治	国立病院機構水戸医療センター 臨床研究部移植医療研究室
造血幹移植分野:	一戸辰夫	広島大学 原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野
輸血分野:	高陽淑	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 検査三課
・ 試料管理部門		
DNA-QC 担当:	安波道郎	長崎大学 熱帯医学研究所
抗体-QC 担当:	中島文明	日本赤十字社 中央血液研究所 研究開発部
・ 部 会 員:		
	石塚 敏	東京女子医科大学 中央検査部 移植関連検査室
	太田正穂	信州大学 医学部 法医学教室
	吉川枝里	東海大学 医学部基礎医学系分子生命科学
	木村彰方	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野
	小林孝彰	名古屋大学 移植免疫学寄附講座
	宮崎 孔	日本赤十字社 北海道ブロック血液センター 検査一課
	森島泰雄	愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部
	橋口裕樹	福岡赤十字病院
	山本 賢	国立病院機構 大阪医療センター 臨床検査部

事務局：日本赤十字社 血液事業本部内